

ひふみのあゆみ



ひふみらいと

ひふみらいと 追加型投信/内外/資産複合

2023年5月度 月次ご報告書

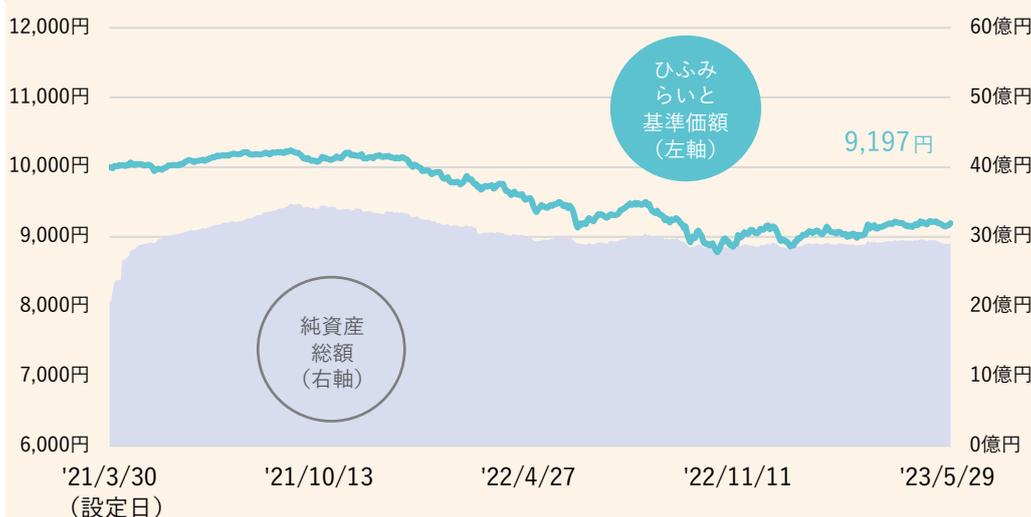
レオス・キャピタルワークスよりお客様へ
資産形成のパートナーに「ひふみらいと」をお選びいただき、ありがとうございます。
運用状況ならびに運用責任者からお客様へのメッセージなどをご報告します。



作成基準日：2023年5月31日

運用実績

基準価額等の推移（日次）



※基準価額は1万口あたりです。また信託報酬控除後の値です。

※当レポートにおいて特段の注記がない場合は、基準日時点における組入比率や運用実績を表しています。また運用成績など表記の値については、小数点第三位を四捨五入して表示しています。そのため組入比率などでは合計が100%にならない場合があります。

※「運用成績」の「設定来」は、設定時の価額（10,000円）を起点として算出しております。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「受益権総口数」とは、お客様に保有していただいている口数合計です。

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「現金等」には未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「基準価額の変動要因」は、月間の変動額を主な要因に分解した概算値であり、実際の数値とは異なる場合があります。また、四捨五入等の関係で、内訳の各数値の合計は基準価額変動額（月次）と合わない場合があります。「信託報酬・その他」のその他には、設定、解約の影響などがあります。

※「ひふみらいと」は複数の投資信託証券（投資対象ファンド）への投資を通じて実質的に債券や株式等へ投資し、投資対象ファンドの基本の組入比率：「ひふみグローバル債券マザーファンド」90%、「ひふみ投信マザーファンド」5%、「ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）」5%を維持することを目指して運用を行なっています。（市況動向や運用の状況によっては組入比率が変動する場合があります）各投資対象ファンド等の状況については後述の「ご参考：マザーファンド基準価額の推移と運用実績」をご覧ください。

運用成績

	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ひふみらいと	0.14%	1.68%	1.61%	-3.14%	-	-8.03%

ひふみらいとの運用状況

基準価額	9,197円
純資産総額	29.09億円
受益権総口数	3,163,746,086口

ひふみらいと 投資信託財産の構成

ひふみグローバル債券マザーファンド	89.54%
ひふみ投信マザーファンド	4.90%
ひふみワールドファンド*	5.07%
現金等	0.49%
合計	100.00%

分配の推移（1万口当たり、税引前）

第2期	2023年4月	0円
第1期	2022年4月	0円
-	-	-
-	-	-
-	-	-
-	-	-
設定来合計		0円

基準価額の変動要因

基準価額変動額（月次） +13円

〔組み入れファンド別変動要因内訳〕

ひふみグローバル債券マザーファンド	-32円
ひふみ投信マザーファンド	+18円
ひふみワールドファンド*	+32円
信託報酬・その他	-5円

〔実質的な資産等項目別の変動要因内訳〕

債券	-18円
株式・投資証券	+32円
為替	+4円
信託報酬・その他	-5円

ひふみグローバル債券マザーファンド 運用状況

ひふみグローバル債券マザーファンドの状況	
純資産総額	237.41億円
組み入れ銘柄数	37銘柄
種別比率	
国債	54.94%
社債	24.82%
住宅ローン担保証券	9.11%
特殊債	2.99%
地方債	1.86%
国際機関債	1.13%
-	-
現金等	5.14%
合計	100.00%

為替ヘッジ比率	
	96.92%

組み入れ上位5通貨 比率	
1 米ドル	45.54%
2 日本円	22.55%
3 ユーロ	21.41%
4 中国元	2.99%
5 オーストラリア・ドル	1.86%

ポートフォリオ特性値	
最終利回り	3.59%
デュレーション	9.0
格付比率	
AAA	30.89%
AA	4.28%
A	52.54%
BBB	7.15%
BB以下	-
資産別比率	
海外債券	72.31%
国内債券	22.55%
-	-
現金等	5.14%
合計	100.00%

組み入れ上位5カ国 比率	
1 アメリカ	46.19%
2 日本	24.83%
3 スペイン	6.77%
4 イタリア	6.66%
5 中国	2.99%

組み入れ上位10銘柄 比率						
銘柄名	種類	国	通貨	償還日	組入比率	
1 日本国債 (30年)	国債	日本	日本円	2052/12/20	11.82%	
2 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/2/15	8.11%	
3 スペイン国債	国債	スペイン	ユーロ	2033/4/30	6.77%	
4 イタリア国債	国債	イタリア	ユーロ	2033/11/1	6.66%	
5 米国住宅ローン担保証券	住宅ローン担保証券	アメリカ	米ドル	2052/10/20	4.69%	
6 日本国債 (40年)	国債	日本	日本円	2063/3/20	4.24%	
7 日本国債 (20年)	国債	日本	日本円	2042/12/20	4.05%	
8 バンク・オブ・アメリカ	社債	アメリカ	ユーロ	2026/9/22	3.77%	
9 米国国債	国債	アメリカ	米ドル	2041/8/15	3.51%	
10 三井住友フィナンシャルグループ	社債	日本	米ドル	2027/1/14	3.46%	

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※「ポートフォリオ特性値」は、ファンドの組入債券等（現金等を含む）の各特性値（最終利回り、デュレーション）を、その組入比率で加重平均したものです。なお、債券先物を含めて計算しています。
（Bloombergの情報を基にレオス・キャピタルワークス株式会社作成）
最終利回りは、ファンドが投資している債券等の特性を示すために各債券の利回りから算出したものであり、ファンドの運用成果を示唆、保証するものではありません。
デュレーションは、金利の変動による債券価格の感応度を表しています。値が大きいかほど金利変動に対する債券価格の変動が大きくなります。

※各比率は、ひふみグローバル債券マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「種別比率」「資産別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。なお、ヘッジ目的で先物取引を利用する場合があります。

※格付は、ムーディーズおよびS&Pの格付のうち高いものを採用し、S&Pの格付形式で表示しています。

※「組み入れ上位5カ国比率」は原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。また、国際機関等特定の国に分類しない場合があります。

※「格付比率」「組み入れ上位5通貨比率」「組み入れ上位5カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」は、現物資産について表示しております。

※「為替ヘッジ比率」は、純資産総額に対する為替予約評価額と円貨資産額の合計の比率です。売買等の計上タイミングや市況動向により比率が100%を超える場合があります。

ひふみ投信マザーファンド 運用状況

ひふみ投信マザーファンドの状況

純資産総額	7,477.24億円
組み入れ銘柄数	294銘柄

資産配分比率

国内株式	88.19%
海外株式	5.77%
現金等	6.04%
合計	100.00%

市場別比率

プライム市場	85.98%
スタンダード市場	1.83%
グロース市場	0.37%
その他海外株	5.77%
現金等	6.04%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率

1 電気機器	12.25%
2 情報・通信業	12.25%
3 銀行業	10.08%
4 サービス業	6.07%
5 機械	5.21%
6 化学	4.61%
7 小売業	4.56%
8 食料品	4.35%
9 保険業	4.16%
10 建設業	4.01%

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、ひふみ投信マザーファンドの純資産総額に対する比率を表示しております。

※「資産配分比率」「市場別比率」の現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。

※「資産配分比率」の株式には新株予約権を含む場合があります。

※「組み入れ上位10業種比率」は国内株式における上位業種を表示しています。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、東証33業種分類を用いて表示しています。なお、海外株式については「その他海外株」として表示しています。

※「組み入れ上位10銘柄比率」の規模は、基準日時点の時価総額と以下の区分に基づき作成しています。

大型(3,000億円以上)

中小型(300億円以上、3,000億円未満)

超小型(300億円未満)

組み入れ上位10銘柄 比率

銘柄名	銘柄コード	規模	上場市場	業種	組入比率
1 東京エレクトロン	8035	大型	プライム市場	電気機器	2.39%
2 楽天銀行	5838	大型	プライム市場	銀行業	2.27%
3 ソニーグループ	6758	大型	プライム市場	電気機器	2.13%
4 東京海上ホールディングス	8766	大型	プライム市場	保険業	2.08%
5 日本電信電話	9432	大型	プライム市場	情報・通信業	1.73%
6 三菱UFJフィナンシャル・グループ	8306	大型	プライム市場	銀行業	1.66%
7 インターネットイニシアティブ	3774	大型	プライム市場	情報・通信業	1.65%
8 GMOペイメントゲートウェイ	3769	大型	プライム市場	情報・通信業	1.55%
9 アドバンテスト	6857	大型	プライム市場	電気機器	1.47%
10 オリエンタルランド	4661	大型	プライム市場	サービス業	1.42%

ひふみワールドファンド* 運用状況

純資産総額	226.33億円	投資信託財産の構成	
		ひふみワールドマザーファンド	99.71%
		現金等	0.29%
		合計	100.00%

*「ひふみワールドファンド」は正式名称を『ひふみワールドファンド FOFs用（適格機関投資家専用）』といい、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。

※「純資産総額」は100万円未満を切捨てて表示しています。

※各比率は、純資産総額に対する比率を表示しています。

※現金等は、純資産総額から有価証券時価総額を差し引いたコールローン、その他の資産です。未収・未払項目などが含まれるため、マイナスとなる場合があります。

※「資産配分比率」の株式には、新株予約権を含む場合があります。海外投資証券はREIT（不動産投資信託）等です。

※「組み入れ上位10カ国比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の国は、原則として発行国で区分しております。なお、国には地域が含まれます。

※「組み入れ上位10業種比率」「組み入れ上位10銘柄比率」の業種は、株式における上位業種を表示し、原則としてGICS（世界産業分類基準）の産業グループ分類に準じて表示しております。

ひふみワールドマザーファンド 運用状況

ひふみワールドマザーファンドの状況	組み入れ上位10カ国 比率
純資産総額	2,895.01億円
組み入れ銘柄数	155銘柄
資産配分比率	
海外株式	97.89%
-	-
現金等	2.11%
合計	100.00%

組み入れ上位10業種 比率	組み入れ上位10通貨 比率		
1 ソフトウェア・サービス	22.24%	1 米ドル	77.47%
2 半導体・半導体製造装置	11.89%	2 ユーロ	8.97%
3 資本財	10.90%	3 中国元	2.66%
4 自動車・自動車部品	9.49%	4 イギリス・ポンド	2.42%
5 食品・飲料・タバコ	6.35%	5 スイス・フラン	2.08%
6 メディア・娯楽	4.52%	6 台湾ドル	1.24%
7 テクノロジー・ハードウェアおよび機器	4.41%	7 香港ドル	1.08%
8 一般消費財・サービス流通・小売り	4.29%	8 ノルウェー・クローネ	0.60%
9 ヘルスケア機器・サービス	3.56%	9 デンマーク・クローネ	0.55%
10 消費者サービス	3.11%	10 オーストラリア・ドル	0.49%

組み入れ上位10銘柄 比率				
銘柄名	国	通貨	業種	組入比率
1 PALO ALTO NETWORKS, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.52%
2 MOTOROLA SOLUTIONS, INC	アメリカ	米ドル	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	2.52%
3 FERRARI NV	イタリア	米ドル	自動車・自動車部品	2.51%
4 ORACLE CORPORATION	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.40%
5 TETRA TECH, INC	アメリカ	米ドル	商業・専門サービス	2.35%
6 DR. ING. H.C. F. PORSCHE AG	ドイツ	ユーロ	自動車・自動車部品	2.27%
7 SENTINELONE, INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.22%
8 ACCENTURE PLC	アイルランド	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.15%
9 INTUIT INC	アメリカ	米ドル	ソフトウェア・サービス	2.07%
10 AMAZON.COM, INC	アメリカ	米ドル	一般消費財・サービス流通・小売り	2.03%

ひふみグローバル債券マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみグローバル債券マザーファンド 運用成績	-0.39%	1.30%	1.18%	-4.12%	-	-8.61%

※「ひふみらいと」が直接または間接的に投資している各投資信託証券の基準価額の推移と運用成績を、「ひふみらいと」の当初設定日の前営業日（2021年3月29日）を10,000として指数化して作成、算出しております。

※運用成績は小数点第三位を四捨五入して表示しています。「ひふみらいと設定来」は、「ひふみらいと」の設定日の前営業日（2021年3月29日）（「ひふみグローバル債券マザーファンド」は当初設定時）を起点として算出しております。

※「ひふみらいと」の投資対象ファンドの一つである「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」は、「ひふみワールドマザーファンド」を高位に組み入れています。ここでは、「ひふみワールドマザーファンド」の基準価額の推移と運用成績を記載しております。

ひふみ投信マザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみ投信マザーファンド 運用成績	3.97%	6.02%	6.88%	9.31%	-	-4.02%

ひふみワールドマザーファンド 基準価額の推移（日次）



運用期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	ひふみらいと設定来
ひふみワールドマザーファンド 運用成績	7.27%	7.05%	9.60%	13.18%	-	19.91%

ファンドに組み入れている「ひふみグローバル債券マザーファンド」の下落がマイナスに影響したものの、「ひふみ投信マザーファンド」および「ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）」の上昇がプラスに寄与したことで、基準価額は前月末に比べて0.14%上昇しました。

【ひふみ投信マザーファンド】

日本銀行による早期の金融政策見直し観測が後退したことに加えて、日本企業の好調な決算やPBR（株価純資産倍率）改善への期待などから、海外投資家を中心とした日本株の買いが続いたことで、当ファンドの基準価額は3.97%上昇しました。

【ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用）】

米半導体大手がAI向け半導体の需要急増を背景に強気な売上見通しを公表したことや米国の債務上限問題の解決に向けた進展が好感されたことなどから、世界の株価は堅調に推移しました。これに加えて、為替市場で円安の動きが強まったことから、当ファンドの基準価額は7.27%と大きく上昇しました。

【ひふみグローバル債券マザーファンド】

米国を中心に堅調な景気を背景としたインフレの高止まりに対する懸念が強まりつつあり、金利が上昇基調で推移したことで、当ファンドの基準価額は0.39%下落しました。

世界の株式は年初来で好調なリターンとなっていることもあり、オプション取引などによる株価の調整に対する備えが進んでいます。高値警戒感はあるものの、市場に何がどこまで織り込まれているのかを考えながら、極端な弱気に陥らないよう注意することも相場と向き合う上では大切なことだと考えています。

引き続き皆様からお預かりしている大切な資産を全力で運用してまいります。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

(6月1日)



ひふみらいと
ファンドマネージャー
岡田 泰輔

※TOPIXは、全てTOPIX（配当込み）を用いています。TOPIX（配当込み）は当ファンドのベンチマーク（運用する際に目標とする基準）ではありませんが、参考として記載しています。TOPIXは、株式会社J P X総研が算出、公表する株価指数です。日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出されます。

※TOPIX等の指数値およびTOPIX等に係る標章または商標は、株式会社J P X総研または株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といいます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIX等に関するすべての権利・ノウハウおよびTOPIX等に係る標章または商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、TOPIX等の指数値の算出または公表の誤謬、遅延または中断に対し、責任を負いません。当ファンドは、J P Xにより提供、保証または販売されるものではなく、当ファンドの設定、販売および販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

米10年金利は3.42%から3.69%（ニューヨーク5月30日）に上昇しました。サービスインフレが高止まりしていることを受けて、複数のFRB（連邦準備制度理事会）高官が更なる利上げの必要性に言及し、市場は7月までに0.25%の利上げを一時はフルに織り込み、年内の利下げ期待がほぼ消失する局面もありました。一方でパウエル議長や副議長に指名されているジェファソン理事等のコアメンバーは利上げをいったん中止し、状況を見守る意向と見られます。インフレという運行指標にとられるよりも、先行きを重視（フォワードルッキング）し信用収縮や景気悪化に備えるべきというロジックです。いずれにしても、利上げは最終段階であり、ここからの利上げ幅はゼロか多くて0.5%と見ています。引き続き10年超の米国債に妙味を感じており、月中に押し目買いを入れました。

日本国債20年金利は0.99%から1.02%（5月31日）へと小動きでした。月中は日銀のハト派（金融緩和）スタンスが明確化したため、YCC（イールドカーブコントロール）修正に備えたヘッジを外す動きが見られるなど、金利が低下する局面がありましたが、月末にかけては総裁発言のトーンがいくぶん変化しているように見えます。ドル円が140円を突破したため何らかの変化が生じた可能性があります。前回の介入は145円程度からあったと見られ、30日には財務省・金融庁・日銀の三者会合が開かれたこともあって、警戒感が出始めています。YCC修正に関しては、仕組み上事前予告が難しいうえに、新総裁就任後に日銀がむしろハト派化していること、さらには物価予想と紐づけているために短期金利の利上げ等更なる引締めが想起されやすいこともあって、市場へのインパクトが大きなものになる可能性があります。現時点で6月または7月の修正の可能性が高いとは考えていませんが、ポジションとしては修正に備えた形を継続しています。

独10年債金利は、2.31%から2.34%（欧州5月30日）への上昇と小動きでした。

引き続き全力で運用してまいります。どうぞよろしく願いいたします。

（5月31日）



ひふみグローバル債券
マザーファンド
ファンドマネージャー
福室 光生

債券ってなに？～債券の基礎知識～【YouTube】

ひふみらいとがひふみグローバル債券マザーファンドを通じて投資している「債券」について、いまさら聞けない基礎知識を約10分で解説する動画をYouTubeの公式チャンネルにて好評配信中です。

専門用語をできるだけ使わずに、当社社員が分かりやすくお伝えしております。

ぜひご視聴いただき、債券運用への理解の一助としていただければ幸いです。



レオス・キャピタルワークス
【投資信託「ひふみ」公式】YouTubeチャンネル
登録者数2万人突破！
チャンネル登録お願いします！

5月の相場環境は、米国の金融引き締め打ち止め観測と最近のAI関連銘柄の好調、特にNVIDIAの大幅な上方修正および株価の上昇が、米国のマーケットのセンチメント（市場心理）を好転させました。その流れを受けて日本株は堅調でしたが、さらに、東証のPBR（株価純資産倍率）1倍割れ銘柄の改善要請や日銀の金融緩和継続見通し、また日本企業の株主還元方向性などがはっきりしてきたことにより、日経平均株価はバブル崩壊以降の最高値を更新しています。

それにともないファンドで組み入れている銘柄も好調で、ほぼTOPIX（東証株価指数、配当込み）並みのパフォーマンスを維持できました。また、これからは出遅れていた日本の小型株指数の改善も見込まれると考えているので、そのような銘柄を組み入れていき、運用パフォーマンスの向上につとめていきたいと考えております。

これからも全力を尽くして運用します。ひふみらいとをよろしくお願いたします。

(6月6日)



ひふみ投信マザーファンド
ファンドマネージャー
藤野 英人

※日経平均株価に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は株式会社日本経済新聞社に帰属します。

新しい夜が明ける

5月のひふみワールドマザーファンドの騰落率は前月比+7.27%となりました。月初ではインフレ圧力の緩和による次回（6月）FOMC（連邦公開市場委員会）での利上げ打ち止め期待や企業の事前予想を上回る好決算の発表により景気の先行きに対する不安が和らぐ一方で、米連邦政府の「債務上限問題」が市場参加者の目先の懸念として存在していました。しかし中旬以降に民主党・共和党間で債務上限問題の早期の妥結が確実視され始めたことで、相場は「リスク・オン（投資家が株式等のリスク性商品に資金を振り向ける状態）」に転じました。

ひふみワールドマザーファンドの月前半は「業績変動のリスクが少なくキャッシュフロー創出力が高い企業群」や「政策支援を追い風に成長する企業群」などが貢献し、月半ば以降はリスクオンの流れに加えて企業のビジネスモデルと収益構造を一変させる期待が大きい「生成系AI（創造的且つ現実的なオリジナルの「作品」を生み出す人工知能）」市場の拡大が期待され、その恩恵を最も受ける「ソフトウェア・半導体関連企業」がパフォーマンスを牽引しています。

さて5月は欧米先進国やアジア各国で投資家が企業経営者と議論を交わすカンファレンスが多数開催される季節であり、今年はほぼすべてがリアル開催でした。コロナ禍ではその殆どがバーチャル形式に転じたお陰で、「国を跨いでカンファレンスのハシゴ」をするという以前には考えられなかったことが可能となり、非常に効率的ではありましたが、やはりリアルで開催されるカンファレンスで得られる「ダイレクトな情報の鮮度」は桁違いです。運用メンバーはこの「新しい夜が明ける」タイミングを逃さず海外出張を行ない、この1ヶ月だけでも計8カ国（欧米先進国と新興国をバランス良く）を訪問、カンファレンスに参加する一方で、個別の取材や工場見学も行ないポスト・コロナの変化を目で見て肌で感じ、それらの調査活動を通じて確信した「世界のビックリ」銘柄をポートフォリオに組み入れています。これらの銘柄に関しては改めてアカデミーや各種セミナーでご紹介することもあるかと思しますので、その機会を楽しみにお待ちしております。運用チームは「足で稼いだ情報」を大切に、今後もパフォーマンスの向上に全力を尽くしてまいります。引き続きひふみらいとをどうぞよろしく願いいたします。

(5月31日)



ひふみワールドマザーファンド
ファンドマネージャー

湯浅 光裕



米金融政策の転換点接近、主要国株高に弾みか

AI(人工知能) & 半導体関連株人気に着火

市場の注目は米国(6月13~14日)、ユーロ圏(15日)、日本(15~16日)の金融政策決定会合にありそうです。これまで、米欧を中心に物価高騰を抑制するため、強硬な利上げが実施されてきましたが、米国は利上げ最終局面(打ち止め)に近づき、6月FOMCで利上げを(一時)休止するか、利上げ継続かが焦点になっています。ユーロ圏のECB理事会ではコア物価の抑制のために0.25%の追加利上げが濃厚とみられています。一方、前回4月会合で賃金の上昇を伴う形で2%の物価安定目標達成を明示した日銀は6月会合で政策据置(緩和維持)の可能性が高そうです。

原油など国際商品市況やグローバルな物品(財)価格は、金融引き締めによる投機マネーの抑制効果や、サプライチェーンの正常化などから既に鎮静化しています。一方、遅行指標のサービス物価は減速が緩慢です。米欧の金融政策当局は、2%目標を大きく上回るコアインフレ率を引き下げるために利上げを継続すべきか、米銀行破綻が示すような利上げの副作用(金融不安、信用収縮)に配慮し、利上げを停止すべきか、金融政策の岐路に近づいていると推察されます。

米国の過去40年近くを振り返ると、金融引き締め(利上げ)の最終局面で国内金融危機か、通貨危機が発生し、特に前者の場合には急速な金融緩和(利下げ)に転じています。「引き締め過ぎ、オーバーキル⇒危機発生、景気悪化(後退)⇒政策転換・急速な金融緩和」の図式が多く見られました。今回、金融政策がオーバーキルにならないことを願いますが、仮に引き締め過ぎの弊害が生じる場合にはおそらく年後半、金融政策が緩和(利下げ)に急転換するでしょう。なお、足元の米国の家計や企業のバランスシートは総じて健全で、過剰(バブル的)行動は抑えられていると評価されますので、深刻な金融危機や景気後退に発展する可能性は低いでしょう。

主要国景気は、コロナ収束・経済再開の流れから特にサービス消費(非製造業)の拡大が際立っていますが、製造業では欧米などの強硬な金融引き締めによって業況悪化が顕著になり、二極化傾向(まだら模様)になっています。米国はじめ世界景気全体で見れば拡大が続いていると評価されます。今後の焦点の1つは、米国の銀行が与信(貸出)厳格化を強めており、信用収縮の影響(引き締め効果)が米国中心に不動産、景気、物価の下押し要因になりそうなことです。

米国の連邦政府債務残高の引き上げ問題は、債務不履行に陥るであろう「Xデー(6月5日)」を前に議会で歳出抑制を条件に2025年1月まで適用停止になる法案が成立し、大きな懸案事項が払拭されました。今後、米国の金融政策の転換(利上げ終了、利下げ)が明示されるようになれば、米国株をはじめ世界株は上昇相場に弾みがつくと推察されます。米国で8月下旬に予定される経済シンポジウム「ジャクソンホール会合」がタイミング的に要注目とみられます。

主要国の中では日本の投資環境が良好です。日本は経済再開に加えて、インバウンドの回復や半導体などの対内直接投資の活発化などによる景気拡大と金融緩和の「絶妙の組み合わせ」です。政治面では岸田政権の内政・外交政策の安定感が増し、長期政権化の余地が広がっています。加えて東証が旗振り役になって「割安株の資本効率引上げ」が一大テーマに浮上しています。世界的にはAI & 半導体人気に着火し、成長株優位・割安株劣位の2極化ですが、日本株は成長株に加えて割安株にも注目が広がり、広範囲物色で資金を呼び込みやすくなっています。

(6月2日)

運用メンバーからのメッセージ

毎月、トピックを用意して運用メンバーのコメントを集めています。
多様な考えや価値観をお届けすることを通じて、新しい視点を持っていただくきっかけになれば幸いです。

今月のトピック

今年のGWは旅行者が増え、観光地に賑わいが戻りました。企業取材やひふみのイベント等で日本や世界を飛び回っていますが、プライベートで再訪したい場所・行ってみたい場所はどこですか？



Fujino Hideto
藤野 英人
代表取締役会長兼社長
最高投資責任者

行きたいところありすぎてどこにも行きたくないです。
というのは冗談ですが、おそらく、行きたいところでやりたいことを全部やると300年くらいかかりそうです。



Yuasa Mitsuhiro
湯浅 光裕
代表取締役副社長
未来戦略部長

ノルウェー、オスロに行きたいです（いつか行きます）。ノルジェスバンクがお客様になって15年経ちますが、彼らから「私たちがレオスに会いに行くので、ノルウェーには来なくて良いです」と最初に言われて以来、なんとなく個人的に踏み入れられない地となっています。



Watanabe Shota
渡邊 庄太
運用本部長
株式戦略部長
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

まだ行ったことないので、イタリアなど南欧諸国はいつか訪れてみたいです。再訪では国内各地の名湯めぐりをしたいです。



Yatsuo Hisashi
八尾 尚志
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

どの国やどの地域にもそれぞれの良さが沢山あり一つに絞り切れないのですが、長期で滞在・居住するという観点で見るとロンドンの一択です。相変わらず乗車している地下鉄の行き先が突然変わったり、水回りは貧弱だし部屋は薄暗いし、食事も気を付けないと頭を抱えたりしますが笑、それでも昔に比べれば遥かに効率的になり、ちゃんと美味しいレストランもそれなりに増えて、欧州各国への移動も便利でEU離脱後も変わらず独自のポジションを維持し、NYや東京とはまた違ったコスモポリタンな都市であり続ける、そういった個性を今回の海外出張でも改めて実感しました。



Sasaki Yasuto
佐々木 靖人
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

コロナ禍を理由に行かなくなってしまった飲食店に行きはじめています。全てをリスト化してみると、倒産してしまったお店もかなりあることに気がつき、申し訳ない気持ちになります。



Wei Shanshan
韋 珊珊
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

子供を連れていろいろな国を回ってみようと思います。さまざまな文化やライフスタイルに早いうちに触れてもらい、世界に好奇心を持ってもらいたいです。時差もありますので、まずはハードルの低いアジア諸国を回ろうかなと思います。

運用メンバーからのメッセージ



Takahashi Ryo
高橋 亮
シニア・アナリスト
シニア・ファンドマネージャー

北陸から東北の日本海側の地域です。子供の頃トワイライトエクスプレスで通過しただけのところが多く、降り立ったことがありません。これらの地域に営業で行き、ぜひお客様ともお会いしたいと思います。



Kawasaki Satsuki
川崎 さつき
シニア・アナリスト
サステナビリティ経営デザイン室室長

国内外を問わず、遠方に住む友人に会いに行きたいなと思っています！



Senoh Masanao
妹尾 昌直
シニア・アナリスト

特に場所指定はないですが、世界のみならず日本の各地域に子供を連れて多様な世界や価値観に触れさせたいと思います。



Oshiro Shintaro
大城 真太郎
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

ローカル線が好きなので、未来の日本像をイメージする意味でも、東京周辺で人口が増えている市区を電車で巡って、そこそこ人がいるカフェで読書したいですね。



Naito Makoto
内藤 誠
シニア・アナリスト
ファンドマネージャー

インドやインドネシアなどの発展著しい新興国に行きたいです。現地の消費嗜好や生活水準を直に感じたいと考えています。



Matsumoto Ryoga
松本 凌佳
アナリスト
ファンドマネージャー

盛岡に是非また足を運びたいです。先日つみたてキャラバンで訪問した際、非常に温かく迎えていただき、私の方がむしろ元気をいただけてしまいました。本当にありがとうございました。岩手山の絶景、澄んだ空気、美味しい魚と日本酒、ジャージャー麺と、自然もグルメもすごく充実しています。次はわんこそばもいただきたいです。

ひふみ公式LINEアカウント



ひふみ

「ひふみ」を運用するレオス・キャピタルワークスはお客様に向けてLINEでの情報提供を始めました。お客様と長期的な資産形成を一緒に行なっていくためにさまざまな情報をお届けします。

こちらから**LINEお友だち登録**をお願いします

またはLINEにて「ひふみ」で検索

LINEでできること

- ✓ ひふみ口座へのログイン
- ✓ 記事コンテンツ、映像コンテンツの配信をお知らせ
- ✓ 当社イベント・セミナーのお知らせと申し込み
- ✓ メニュー画面からYouTube「お金のまなびば！」へ簡単アクセス
- ✓ 随時、ひふみからの記事や動画のお知らせも届きます！

運用メンバーからのメッセージ



Fukumuro Mitsuo
福室 光生
債券戦略部長
シニア・ファンドマネジャー

ハワイです。円安と物価高が厳しいところですが、外貨建て資産（ひふみワールド等）を保有しているのでそれなりにまかなえるはずと思っています。



Chiba Toshinobu
千葉 俊信
債券戦略部
シニア・ファンドマネジャー

一ヶ月程度かけて、四国88ヶ所の歩き遍路をしたいです。各お寺一つ一つをゆっくり見たり、宿坊に泊まり、色々なバックグラウンドの人と話してみたいです。



Takabatake Mikio
高島 幹夫
債券戦略部
シニア・クレジットアナリスト

フランスのベルサイユ宮殿に行ってみたいです。昔、旅行で行こうとしたら休館日だったので、今度こそ中に入って、マリー・アントワネットの気分になって「きょうはベルサイユはたいへんな人ですこと・・・」と泣きながらつぶやくなど、ベルばらごっこをしつつ、家族にフランス革命をレクチャーしたいと思います。



Okada Taisuke
岡田 泰輔
未来戦略部
シニア・ファンドマネジャー

海外だとニューヨークにまた行きたいと思っています。いつかいつかと先延ばしにしていたら、前回訪問してから14年ほど経ってしまいました。国内では先日「つみたてキャラバン」で行かせていただいた高知・香川に観光目的で行ってみたいです。



Miyake Kazuhiro
三宅 一弘
運用本部
経済調査室長

前職の証券会社調査部時代、マーケティング訪問以外に、新興国ブームと重なったこともあり、リサーチトリップを企画・参加で各地をまわりました。大戦前の街並みが残るプラハやウィーンは再訪したいですね。



Hashimoto Yuichi
橋本 裕一
マーケットエコノミスト

ひふみのお客様が全国にいらっしゃることもあり、国内は全都道府県に行くことができました。なのでこれからは海外に行きたいです。ベタですが、世界遺産や、日本人が活躍しているスポーツを観に行きたいですね。

ひふみらいとの特色

「ひふみらいと」は、投資信託証券への投資を通じて、主として内外の株式および内外の債券に実質的に投資し、信託財産の中長期的な成長を図ることを目的として運用を行ないます。

- ① 投資信託証券への投資を通じて、世界の株式および債券等に分散投資を行ないます。
- ② 原則として、株式に約10%、債券に約90%投資します。

ひふみ投信の特色（ご参考）

「ひふみ投信」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 国内外の上場株式を主要な投資対象とし、市場価値が割安と考えられる銘柄を選別して長期的に投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

ひふみワールドの特色（ご参考）

「ひふみワールド」は、マザーファンドを通じて信託財産の長期的な成長を図るため、次の仕組みで運用します。

- ① 日本を除く世界各国の株式等を主要な投資対象とし、成長性が高いと判断される銘柄を中心に選別して投資します。
- ② 株式の組入比率は変化します。
- ③ 株式の組入資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
- ④ 運用はファミリーファンド方式により、マザーファンドを通じて行ないます。

投資リスク

■ 基準価額の変動要因

- ・ 投資信託証券への投資を通じて株式など値動きのある証券（外国の証券には為替リスクもあります。）に投資いたしますので、基準価額は、大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割り込むことがあります。これらの運用により生じる利益および損失は、すべてお客様（受益者）に帰属します。
- ・ 投資信託は預貯金等とは異なります。

■ 基準価額の変動要因となる主なリスク

価格変動リスク	国内外の株式や公社債を実質的な主要投資対象とする場合、一般に株式の価格は個々の企業の活動や業績、市場・経済の状況等を反映して変動し、また、公社債の価格は発行体の信用力の変動、市場金利の変動等を受けて変動するため、その影響を受け損失を被るリスクがあります。
流動性リスク	有価証券等を売却あるいは取得しようとする際に、市場に十分な需要や供給がない場合や取引規制等により十分な流動性のもとでの取引が行なえない、あるいは不利な条件で取引を強いられたり、または取引が不可能となる場合があります。これにより、当該有価証券等を期待する価格で売却あるいは取得できない可能性があり、この場合、不測の損失を被るリスクがあります。
信用リスク	有価証券等の発行者や有価証券の貸付け等における取引先等の経営・財務状況が悪化した場合またはそれが予想される場合もしくはこれらに関する外部評価の悪化があった場合等に、当該有価証券等の価格が下落することやその価値がなくなること、または利払いや償還金の支払いが滞る等の債務が不履行となるおそれがあります。投資した企業等にこのような重大な危機が生じた場合には、大きな損失が生じるリスクがあります。また、実質的に投資した債券の発行体にデフォルト（債務不履行）が生じた場合またはそれが予想される場合には、債券価格が下落する可能性があり、損失を被るリスクがあります。
為替変動リスク	外貨建資産を組み入れた場合、当該通貨と円との為替変動の影響を受け、損失が生じる場合があります。また、一部の資産において、為替ヘッジを行なう場合に円の金利が為替ヘッジを行なう通貨の金利より低いとき、この金利差に相当するヘッジコストが発生します。
カントリーリスク（エマージング市場に関わるリスク）	当該国・地域の政治・経済情勢や株式を発行している企業の業績、市場の需給等、さまざまな要因を反映して、有価証券等の価格が大きく変動するリスクがあります。エマージング市場（新興国市場）への投資においては、政治・経済的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の未整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等の状況によって有価証券等の価格変動が大きくなる場合があります。また、新興国の公社債は先進国の公社債と比較して価格変動が大きく、債務不履行が生じるリスクがより高いものになる可能性があります。

※投資リスク(基準価額の変動要因)は、上記に限定されるものではありません。

当資料のご留意点

- 当資料はレオス・キャピタルワークスが作成した販売用資料です。投資信託のお申込みにあたっては、事前に販売会社よりお渡りする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を十分にお読みになり、ご自身でご判断ください。
- 当資料に記載されている当社が運用する投資信託の過去の運用結果等は、将来の結果等をお約束するものではありません。また、当該過去の運用結果等は、当該投資信託に投資をされた各投資家の利回りを表すものではありません。運用実績は投資信託の利益にかかる税金等を考慮していません。
- 当資料は作成日における信頼できる情報に基づき作成しておりますが、内容の正確性・完全性を保証するものではなく、また記載されている内容は予告なく変更される場合があります。
- 投資信託は、預金等や保険契約とは異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- セミナー等で金融商品の説明等を行うことや、お客様からのご依頼がある場合に金融商品に関連する追加の説明等を行うことがあります。しかしながら、売買の推奨等を目的とした投資勧誘は行ないません。また、金融商品の案内、説明等はあくまで各お客様ご自身のご判断に資するための情報提供目的であり、金融商品の購入等を推奨するものでもありません。

お申込メモ

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
商品分類	追加型投信／内外／資産複合	追加型投信／内外／株式	追加型投信／海外／株式
当初設定日	2021年3月30日	2008年10月1日	2019年10月8日
信託期間	無期限		
決算日	毎年4月15日(休業日の場合翌営業日)	毎年9月30日(休業日の場合翌営業日)	毎年2月15日(休業日の場合翌営業日)
収益の分配	決算時に収益分配方針に基づいて分配を行いません。分配金再投資専用のため、分配金は自動的に再投資されます。		
購入単位	1,000円以上1円単位の金額指定で受け付けます。		
購入価額	ご購入のお申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
購入代金	販売会社が定める日までに販売会社にお支払いください。		
換金(解約)単位	1口以上の口数指定または1円単位の金額指定で受け付けます。		
換金価額	換金申込受付日の翌営業日の基準価額（1万口当り）		
換金代金	換金申込受付日から起算して6営業日目から支払われます。	換金申込受付日から起算して5営業日目から支払われます。	
購入・換金申込受付不可日	ニューヨーク証券取引所、ニューヨークの銀行、香港証券取引所、香港の銀行またはロンドンの銀行のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。	—	ニューヨーク証券取引所または香港証券取引所のいずれかの休業日と同じ日付の場合には、申込受付は行いません。
申込締切時間	購入・換金ともに、毎営業日の15時までに受け付けたものを当日のお申込みとします。		
課税関係	課税上は、株式投資信託として取り扱われます。配当控除の適用はありません。公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度の適用対象です。税法が改正された場合等には、変更となる場合があります。		

お客様にご負担いただく費用

◇直接ご負担いただく費用：ありません。

申込手数料・換金（解約）手数料・信託財産留保額 は一切ありません。なお、「スポット購入」に際しての送金手数料はお客様負担となります。

◇間接的にご負担いただく費用：次のとおりです。

	ひふみらいと	ひふみ投信（ご参考）	ひふみワールド（ご参考）
運用管理費用（信託報酬）	ひふみらいと：信託財産の日々の純資産総額に対して年率0.55%（税込）を乗じて得た額 投資対象とする投資信託証券（ひふみワールドファンドFOFs用（適格機関投資家専用））：純資産総額に対して年率0.0022%（税込） 実質的な負担※：純資産総額に対して年率0.5522%（税込）程度	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.078%（税込）を乗じて得た額	信託財産の日々の純資産総額に対して年率1.628%（税込）を乗じて得た額
信託報酬とは、投資信託の運用・管理にかかる費用のことです。日々計算されて、投資信託の基準価額に反映されます。毎計算期間の最初の6ヵ月終了日および毎計算期末または信託終了のとき信託財産から支払われます。 ※投資対象ファンドを基本の組入比率で按分した投資対象ファンドの運用管理費用（信託報酬）を加味して、投資者が実質的に負担する信託報酬率について算出したものです。この値は目安であり、各投資信託証券への投資比率の変更等により変動します。また、投資対象ファンドの変更等により今後変更となる場合があります。			
監査費用	信託財産の純資産総額に対して年率0.0055%（税込）以内を乗じて得た額。監査費用は監査法人との契約条件の見直しにより変更となる場合があります。日々計算されて、毎計算期末または信託終了のときに信託財産から支払われます。		
その他費用・手数料	投資対象とする投資信託証券における諸費用および税金等、信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	組入有価証券の売買の際に発生する売買委託手数料（それにかかる消費税）、先物取引・オプション取引等に要する費用、外貨建資産の保管等に要する費用、租税、信託事務の処理に要する諸費用および受託会社の立て替えた立替金の利息など。	
	これらの費用は、運用状況等により変動するものであり、予めその金額や上限額、計算方法等を具体的に記載することはできません。		

※手数料等の合計金額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

ファンドの関係法人

委託会社：レオス・キャピタルワークス株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第1151号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会
 受託会社：（ひふみらいと）三井住友信託銀行株式会社
 （ひふみ投信）三井住友信託銀行株式会社
 （ひふみワールド）三菱UFJ信託銀行株式会社
 販売会社：レオス・キャピタルワークス株式会社

各ファンドについてのお問い合わせ先


 ● RHEOS CAPITAL WORKS
 レオス・キャピタルワークス株式会社
 コミュニケーション・センター
 電話：03-6266-0123 メール：cc@rheos.jp
 受付時間：営業日の9時～17時
 ウェブサイト：https://www.rheos.jp/

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください